

岸和田城天守閣バリアフリー化の選択肢

	外付け+施設内エレベーター設置	施設内のみエレベーター設置	段差解消機（階段昇降機）の設置	スカラモービルの購入
工事額の目安（web引用等）	×（約57,000千円）+年間点検1,254千円 ※外付け30,000千円、施設内27,000千円、他に床等補強必要あり（ただし、耐震補強時の大規模リフォームに含まれる） 点検費用はだんじり会館の実績を参照	△（約27,000千円）+年間点検1,254千円 ※他に床等補強必要あり（ただし、耐震補強時の大規模リフォームに含まれる）	○（3,000千円）+年間点検40千円 ※出入口屋外用、屋内1階から2階、屋内2階から3階で各1,000千円を想定 点検費用はだんじり会館の階段昇降機の実績を参照	○（1,700千円）
文化財保護法との適合	△ ※文化庁調査官との協議のなかで、八陣の庭から見えない部分であれば、設置の協議は可能との意見をいただいている	○ ※施設内のみであれば外観は変わらない	△ ※外付けエレベーターと同様に八陣の庭から見えない部分であれば、設置の協議は可能	○ ※使用時以外は施設内で保管するため外観に影響を与えない
建築基準法との適合	△ ※エレベーターを外付けする場合は「増築」となるため、既存の建築物の部分で現行法令に適合していない部分がある場合は、原則として現行法令に適合するよう改修をする必要がある	○ ※増築には当たらず、エレベーターの申請のみで可能。ただし構造的に問題ないか検討が必要。耐火構造にすることが望ましい。	○ ※増築にはあたらない。	△ ※建物を何も触らないため、建基法に適合するものの、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律におけるバリアフリーとしては不適切
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に誰でも3階まで上げられるようになる 外からの荷物の運搬等が簡易になる 	<ul style="list-style-type: none"> 景観に影響を及ぼさない 天守閣前の階段昇降が可能であれば、だれでも簡単に3階に上げられるようになる 荷物の運搬が楽になる 	<ul style="list-style-type: none"> コストが安い バリアフリー法にも適合 	<ul style="list-style-type: none"> 景観に影響を及ぼさない コストが安い 必要時のみ保管場所から出してくるため、導線にも影響を与えない
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> コストが過大 名勝八陣の庭の反対側の景観が変わってしまう（名勝への影響はない） 工事の際に石垣に影響を及ぼす可能性あり 	<ul style="list-style-type: none"> コストが過大 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の階段にはスペースがなく設置できない可能性あり 名勝八陣の庭の反対側の景観が変わってしまう（名勝への影響はない） 	<ul style="list-style-type: none"> 介助者が必要かつ介助者に条件がある 重度障害者等一部の人は利用できない可能性あり 保管場所が必要

※補強後の天守閣の間口等（一般的な車いすの幅65cm）

1階入口：横 約100cm、高さ 約220cm

1階階段：横 約110cm、高さ 約180cm（最も狭い箇所）

2階階段：横 約120cm、高さ 約180cm（最も狭い箇所）